

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年9月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は、弱い動きとなっている。

大型小売店販売額は前年を下回り、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(6月)
乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額は前年を上回ったが、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(7月)

産業面・・・鉱工業は、このところ弱い動きがみられる。

鉱工業指数(季節調整済)は、生産指数、出荷指数とも前月を下回った。(6月)

雇用面・・・有効求人倍率は、厳しい状況が続いている。

現金給与総額は前年を下回り、所定外労働時間は前年を上回った。(6月)
求人倍率は、新規は前月を上回り、有効は前月を下回った。新規求人数は前年を下回った。(7月)

需要面の動き

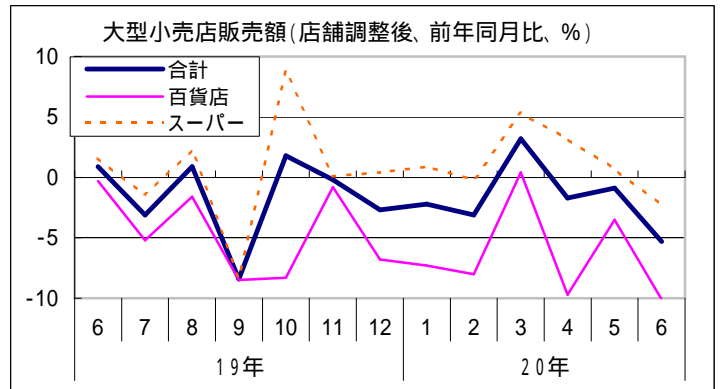
大型小売店販売額(6月)

全店舗の販売額は、50億4,855万円(前年同月比5.3%減)と3か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも3か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	504,855	5.3 (5.3)
百貨店	181,852	10.1 (10.1)
スーパー	323,003	2.3 (2.3)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(6月)

32億2,077万円(前年同月比5.3%増)と4か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(7月)

1,696台(前年同月比1.5%増)と3か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、普通車の増加(前年同月比14.5%増)が大きかった。

新設住宅着工戸数(7月)

214戸(前年同月比21.3%減)と3か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比63.0%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(7月)

11億3,993万円(前年同月比12.4%減)と4か月続いて前年を下回った。用途別では、卸売業、小売業用(前年同月比73.2%減)等が前年を下回った。

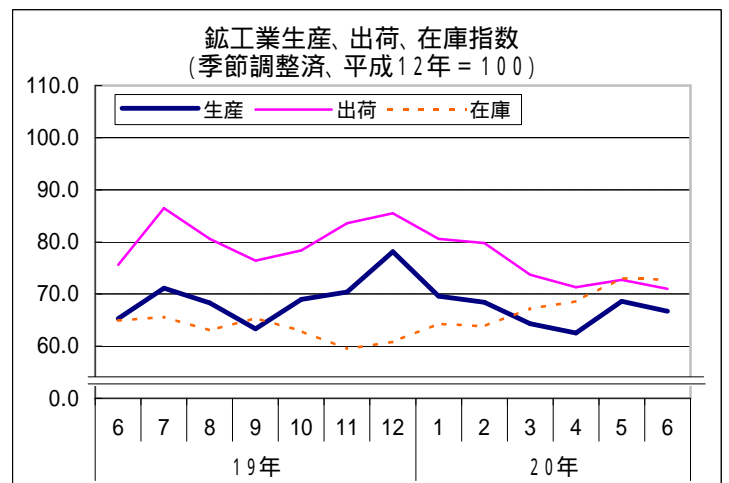
公共工事請負金額(7月)

114億9,100万円(前年同月比28.8%増)と2か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、市町村の増(前年同月比129.8%増)が大きな割合を占めた。

産業面の動き

鉱工業指数(6月)

生産指数(季節調整済)は66.7(前月比2.8%低下)と2か月ぶりに低下し、原指数は63.1(前年同月比2.1%上昇)と2か月続いて上昇した。
内訳を前月比で見ると、電気機械が映像機械器具等の生産増により6.3%上昇、食料品・たばこが17.5%低下、一般機械が2.3%上昇、繊維が1.6%低下した。
在庫指数(季節調整済)は72.7と前月比0.4%低下した。



大口需要電力実績(6月)

143,918千kwh(前年同月比0.2%減)と10か月ぶりに前年を下回り、鉱工業もパルプ・紙等が減少し0.8%減少した。

青果物卸売量(7月、鳥取市場)

野菜が1,362t(前年同月比8.9%増)と2か月ぶりに前年を上回り、果実も1,196t(前年同月比14.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

漁獲量(7月、境港)

6,063t(前年同月比23.5%減)と2か月続いて前年を下回った。

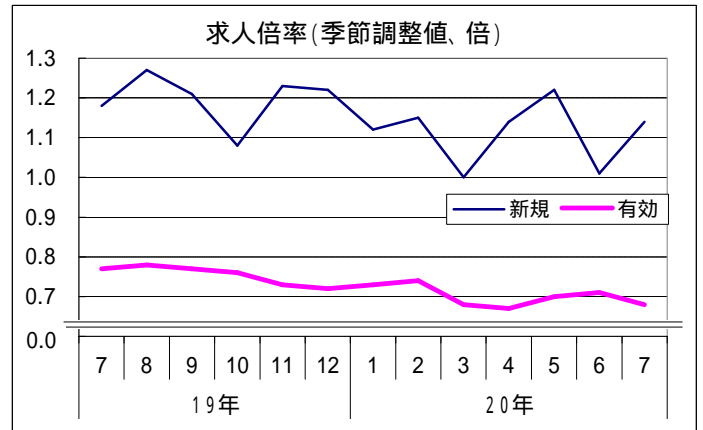
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(7月)

1.14倍(前月差0.13ポイント上昇、前年同月差0.04ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,809人(前年同月比3.3%減)と10か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(7月)

0.68倍(前月差0.03ポイント低下、前年同月差0.09ポイント低下)と27か月続いて0.8倍を割っている。



現金給与総額(6月)

425,607円(前年同月比2.2%減)と3か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、252,682円(前年同月比0.5%増)で5か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(6月)

9.6時間(前年同月比5.5%増)と5か月続いて前年を上回った。主力の製造業は0.7%減となった。産業別の前年同月比では、運輸業(前年同月比32.1%増)等で前年を上回り、建設業(前年同月比21.2%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(6月末)

預金残高は、1兆9,120億円(前年同月比0.2%増)と2か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,255億円(前年同月比1.0%減)と22か月続いて前年を下回った。

参考

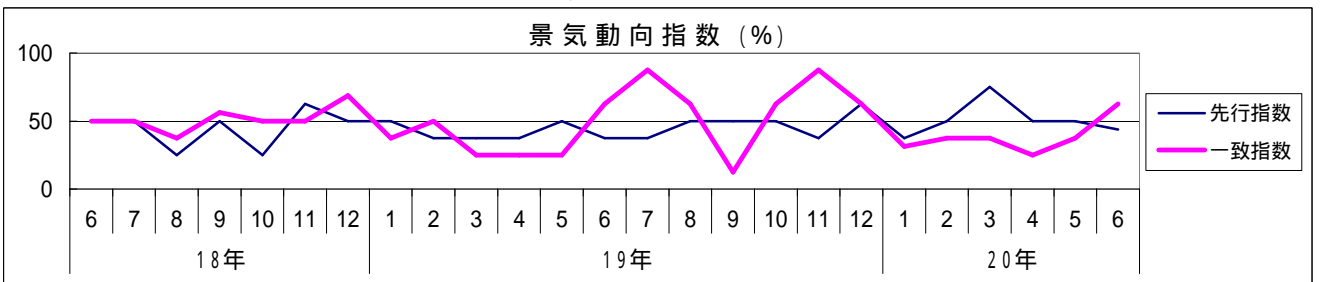
鳥取県景気動向指数(6月)

先行指数43.8%、一致指数62.5%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は5か月ぶりに50%を下回った。

一致指数は6か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は2か月続いて50%を上回った。



企業倒産(7月)

件数は14件(前年同月比133.3%増)で2か月続いて前年を上回り、負債総額は24億5,200万円(前年同月比259.0%増)で3か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(7月、鳥取市、総合、平成17年=100)

102.5となり、前月比(0.7%上昇)は5か月続いて上昇し、前年同月比(3.3%上昇)は9か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(8月1日現在)

595,283人で、前月と比べて227人(0.04%)減少し、前年同月と比べて4,894人(0.82%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年8月調査)

平成20年7~9月期は、平成20年4~6月期に比べると景気、経常利益はきわめて不調であり、売上高は不調である。

平成20年10~12月期は、平成20年7~9月期に比べると景気、経常利益はやや不調となり、売上高はやや好調となる見通しとなっている。